



小城高校書道部に取材に行きました

書家中林梧竹生誕200年（令和9年）を機に、県内外への情報発信による市の認知度向上及び誘客を図り、市民の誇りの醸成につなげる「書×アート。感性を生むまち小城市プロジェクト」という施策が始まります。今回、議会だよりの題字を書いていただいている小城高校書道部に取材しました。（題字をご協力いただくようになり今年度で9年目になります。）

小城高校書道部は現在1年生5名、2年生13名の計18名で活動されています。部員の多くが経験者ですが、高校に入ってから書道を始めた人もいます。

今回題字を担当していただいたのは部長の^な淵上琉菜さん（2年生）です。

「難しかった」「『會』の字にこだわって書きました」と感想をいただきました。

顧問の^{ひらやぶ}平数先生は今年度からご着任。県外ご出身であり、「他県に比べ、佐賀県や小城市は小さいころから『書』に親む環境や文化があり素晴らしいです」とおっしゃっていました。

小城高校書道部の皆さん、ご協力ありがとうございました。



▲題字を選定している様子

小城市議会 広報編集特別委員会

今年2月の改選により、広報編集特別委員会も新たなメンバーとなりました。

一般質問をした各議員が自分の原稿をまとめ、それが提出され次第、定例会閉会后すぐに編集を始めます。

議会で審議された内容を、毎週委員でブラッシュアップしながら仕上げていきます。

今号から一般質問のレイアウトを縦書きから横書きにしたり、高校の取材をさせていただき、少しずつですが市民の皆さまに、より興味関心を持っていただけるよう委員会として取り組んでまいります。

